

中東概説講義パッケージ

前期

鈴木啓之

2018/12/22

◀◀ Web サイト掲載用データ▶▶

実際に授業で用いるものとは内容が一部異なります

【授業の概要】

◀◀省略▶▶

【授業の目的】

この講義では、中東地域の諸相を横断的に理解し、グローバル化時代にふさわしい基礎教養を身につけていきます。

【到達目標】

目標① 中東地域の言語と宗教について、具体例を3つ以上挙げながら説明することができる

目標② 中東地域の文化・芸術（映画など含む）について、具体例を1つ以上挙げて説明することができる

目標③ 欧米諸国と中東地域の関わりについて、具体例を1つ以上挙げて説明することができる

目標④ 日本と中東地域の関わりについて、具体例を1つ以上挙げて説明することができる

目標⑤ 中東地域に関わる任意のテーマに関して、自ら参考文献を調べ、まとめることができる

目標⑥ 中東地域への日本の関わり方に関して、自らの意見を述べることができる

【教育方法】

- ・評価は、期末テストの点数と授業中のグループワークへの参加（各時間2点）を基準とし、ボーナス課題の提出（各5点・加点式）をくわえて行います。
- ・適宜、小レポートなどボーナス課題を出します。提出は任意ですが、自身の理解の促進、ならびに成績に加算されるボーナス・ポイントの獲得ができます。失った評価ポイントの回復をすることができます。
- ・レスポンスシートは成績評価の対象とはなりませんが、授業での疑問点や不明点を記入し、連絡用として使ってください。

【成績評価方法】

- ・以下の2点の項目によって評価します（ボーナス課題については別途加算されます）
 1. グループワークへの参加 （30%：達成目標の①、⑤、⑥に対応）
 2. 学期末試験 （70%：達成目標の②、③、④に対応）
- ・上記を総合して以下の基準で評価します
(◀◀省略▶▶)
- ・適宜ボーナス課題（各5点）があるので、欠席した場合や理解を深めたい者は参加してください（特に就職活動などで欠席が予想される場合は利用するようにしてください）

【受講が推奨される人】

- ・将来、外交や商社など海外で活躍する希望を持つ方
- ・異文化理解や多文化共生などに関心を持ち、積極的に関わりたいと考えている方
- ・イスラムや中東に関心を持ち、知識を深めたいと考えている方

【講義スケジュール：前期】

日時	内容	手法	事前学習など
ガイダンス			
第1回	【講義内容の説明／注意点／アイスブレイク】 講義の内容や評価方法を知り、簡単なクイズを通して自分の知識を確認しましょう。	講義 グループワーク	世界史の中東に関する知識を復習しておくこと
イントロダクション			
第2回	【講義】一つの地域、多様な文化 中東地域の言語・文化・宗教について学び、地域の多様性を理解します。	講義 グループワーク	配布資料の参照
第3回	【講義】国家の形成 欧米諸国の帝国主義支配が中東に与えた影響について学び、諸国家の成り立ちについて考えます。	講義 グループワーク	
国際関係の時代			
第4回	【講義】パレスチナ問題の発生 中東で長年にわたって続いている、パレスチナ問題の始まりを学びます。	講義 グループワーク	
第5回	【講義】クーデタと共和制 エジプト、シリア、イラクなど、中東の共和制国家の成り立ちについて学びます。	講義 グループワーク	
第6回	【講義】トルコとイラン、イスラエル 非アラビア語圏の国家の成り立ちとその後の発展について学びます。	講義 グループワーク	ボーナス課題① 提出締め切り
第7回	【講義】1979年の衝撃 エジプトとイスラエルの和平、ソ連のアフガン侵攻、そしてイラン革命という3つの変化を見ます。	講義 グループワーク	
第8回	【ブレイク】中東の映画①／中間クイズ	映像鑑賞	ボーナス課題② 提出締め切り
現代の中東			
第9回	【講義】石油と中東・湾岸諸国 二回のオイル・ショックと、中東諸国の石油政策について学びます。	講義 グループワーク	
第10回	【講義】ナショナリズム運動と諸国家 アルジェリア独立運動とパレスチナ解放運動を事例に、中東の諸国家体制のなかで展開されたナショナリズム運動を学びます。	講義 グループワーク	

第 11 回	【講義】パレスチナ問題の展開：蜂起から国家へ イスラエルに占領されていたヨルダン川西岸地区 とガザ地区で起きた抗議活動の展開を学びます。	講義 グループワーク	
第 12 回	【講義】湾岸戦争と中東和平 中東和平の試みについて学びます。	講義 グループワーク	ボーナス課題③ 提出締め切り
発展			
第 13 回	【講義】9.11 とその後の世界 9.11 事件からアラブの春へ、今の時代を考えます。	講義 グループワーク	
第 14 回	【講義】出会いと誤解と…中東、世界、イスラム	講義 グループワーク	ボーナス課題④ 提出締め切り
第 15 回	【筆記試験】 ◀◀省略▶▶		

【受講のルール】

- ・他の学生の学習を妨害するような行為（携帯電話での通話、ゲーム機や音楽プレイヤーなどで音を出す行為など）は厳重に注意するとともに、減点対象とします。
- ・授業中の食事は禁止しますが、飲料は飲んでも構いません。
- ・欠席者分の資料は取り置きしません。欠席した場合はクラスメイトにコピーなどをさせてもらうようにしてください。
- ・授業内容の録音、録画、撮影は原則として禁止します（許可する場合はその度に指示します／筆記が難しいなど、特別な事情がある場合は個別に相談してください）。また、教材や授業風景を SNS などにアップロードする行為を発見した場合は、減点を含めて厳重に対応します。

【欠席のルール】

- ・授業中に行うワークに参加が出来ない場合、その時間の評価点は加わりません。
- ・公欠は、①忌引き、②教育実習、③その他の科目との重複（補講など）、④学科行事、⑤感染症、⑥自然災害など、が該当します。
- ・公欠以外の理由により 3 回以上欠席の場合は単位を出すことができません。また公欠であっても 5 回以上欠席の場合は単位を出すことができません。

【前期ボーナス課題：各 5 点】

	課題	提出期限
1	授業のなかで紹介した中東料理のレストランのいずれか、またはその他の中東料理のレストランに出かけ、食レポを A4 で 1 枚にまとめてください（字数は問いません）。 観点：①「おいしかった」だけではダメです。具体的にどのような点に感心したのか、驚いたのかを書いてください。 ②お店で中東独自の装飾、飾りなどを見つけたら、それについて店員さんに質問して、名称や由来などを書いてください。 ③気に入った料理名を、具体的に挙げてください。 【ヒント】大塚和夫編 [2007] 『世界の食文化⑩アラブ』農山漁村文化協会 石毛直道・鈴木董編 [2003] 『世界の食文化⑨トルコ』農山漁村文化協会 エルサムニー、師岡カリーマ [2008] 『イスラームから考える』白水社	第 6 回講義
2	以下のいずれか 1 本の映画を見て、その題材の歴史的な背景について調べ、A4 で 1 枚にまとめてください（字数は問いません）。 「タッチ・オブ・スパイス」（トルコ）、「パラダイス・ナウ」（パレスチナ）、「ペルセポリス」（イラン）、その他中東を扱った映画 観点：①描かれている時代、題材を示してください（推定の場合は、その論拠を示してください） ②どういった点に感心したのか、驚いたのかを書いてください ③関連するテーマの書籍を 1 冊以上参照し、映画内容を補足したり、内容の事実関係を検討してください。 【ヒント】中東映画研究会では、マニアックな映画を解説付きで見ることができます。	第 8 回講義
3	授業中に提示するいずれかの中東・イスラームについて知るシンポジウム、講演会の一つに参加し、A4 で 1 枚にまとめてください。 観点：①開催された日時、場所、企画の名前、登壇者の名前を記載してください。 ②内容の要約をしてください。 ③シンポジウムでの発言や内容について、あなたの意見を具体的に述べてください（「おもしろかった」、「ためになった」ではなく、具体的に記述してください）	第 12 回講義
4	あなたが日本国内で、「中東」、「イスラーム」などいずれかこの授業に関係する物や人と出会った体験や、新たに見つけた日本社会のなかでの「中東」、または「イスラーム」について、A4 で 1 枚にまとめてください。 観点：①どのような事例だったのか、具体的に記述してください。 ②どのように感じましたか。あなたの意見を述べてください。 ③関連する書籍を参照し、自身の体験、発見と比較して検討を加えてください。	第 14 回講義

ボーナス課題・評価観点（5点満点・加点あり）

項目	優れている（1点）	あと一歩	改善が必要（0点）
ページ数	指定枚内に収まっている		指定枚数を著しく（1ページ以上）逸脱している
形式	タイトル、学生番号、氏名、（必要な場合は）参考文献が明示されている		タイトル、学生番号、氏名、（必要な場合は）参考文献のいずれかが欠けている
観点①	満たしている		満たしていない
観点②	満たしている		満たしていない
観点③	取り組み、成果を挙げている（+2）	取り組もうとした痕跡が見える（+1）	取り組んでいない

*提出期限を過ぎた場合、2点の減点をしますが、プラス分の点数は成績に加点されます。

【教科書】

教科書は特に定めません。

【参考書】

- ・基礎文献（授業の進展と併せて参照することが望ましいです）
 - 酒井啓子. 2010. 『<中東>の考え方』講談社現代新書、講談社。
…入門書に最適です。
 - 臼杵陽. 2005. 『中東和平への道』世界史リブレット 52、山川出版社（第6刷、初刷 1999年）。
…パレスチナ問題を中心として中東のとらえ方を学ぶことができる文献です。
 - 小杉泰. 1994. 『イスラームとは何か』講談社現代新書、講談社。
…イスラーム（イスラーム）の観点から中東を考えたい時に読むことをお勧めします。
- ・専門文献（各自の関心に併せて参照することが望ましいです）
 - 酒井啓子編. 2012. 『中東政治学』有斐閣。
…専門的な政治学による中東各地域の小論がまとまっています。
 - 板垣雄三編. 『「対テロ戦争」とイスラーム世界』岩波新書、岩波書店。
…中東とアメリカ（その同盟国である日本）との関係を考えるヒントの詰まった一冊です。

【授業担当者自己紹介】

- ・鈴木啓之（Hiroyuki SUZUKI）
 - 専門領域は地域研究（中東）、中東近現代史（他に国際関係論と社会運動論を勉強しています）
- ・コンタクト方法：メール（◀◀省略▶▶）、または授業の前後
 - オフィスアワーは特に定めません。授業の前後の時間を見つけて、直接コンタクトを取るようになしてください（SNS、LINE などでの連絡は受け付けません）。

中東概説講義パッケージ

後期

鈴木啓之

2018/06/01

◀◀ Web サイト掲載用データ ▶▶

実際に授業で用いるものとは内容が一部異なります

【授業の概要】

◀◀省略▶▶

【授業の目的】

この講義では、中東地域の諸相を横断的に理解し、グローバル化時代にふさわしい基礎教養を身につけていきます。

【到達目標】

- 目標① 中東地域への日本の関わり方に関して、自らの意見を述べることができる
- 目標② 中東地域の文化・芸術（映画など含む）について、具体例を1つ以上挙げて説明することができる
- 目標③ 自らの関心や考えにしたがって、中東地域で起きた事象を理解し、説明することができる。
- 目標④ 中東地域に関係する研究者の名前を、1人以上挙げてその主張やトピックを説明することができる。
- 目標⑤ 中東地域に関わる任意のテーマに関して、自ら参考文献を調べ、まとめることができる

【教育方法】

- ・評価は、期末テストの点数と授業中のグループワークへの参加（各時間2点）を基準とし、ボーナス課題の提出（各5点・加算式）をくわえて行います。
- ・適宜、小レポートなどボーナス課題を出します。提出は任意ですが、自身の理解の促進、ならびに成績に加算されるボーナス・ポイントの獲得ができます。失った評価ポイントの回復をすることができます。
- ・レスポンスシートは成績評価の対象とはなりませんが、授業での疑問点や不明点を記入し、連絡用として使ってください。

【成績評価方法】

- ・以下の2点の項目によって評価します（ボーナス課題については別途加算されます）
 - 1. グループワークへの参加 （30%：達成目標の①、②、③に対応）
 - 2. 学期末試験 （70%：達成目標の④、⑤に対応）
- ・上記を総合して以下の基準で評価します
(◀◀省略▶▶)
- ・適宜ボーナス課題（各5点）があるので、欠席した場合や理解を深めたい方は参加してください（特に就職活動などで欠席が予想される場合は利用するようにしてください）

【受講が推奨される人】

- ・将来、外交や商社など海外で活躍する希望を持つ方
- ・異文化理解や多文化共生などに関心を持ち、積極的に関わりたいと考えている方
- ・イスラムや中東に関心を持ち、知識を深めたいと考えている方

【講義スケジュール：後期】

日時	内容	手法	事前学習など
ガイダンス			
第 1 回	【講義内容の説明／注意点／アイスブレイク】 講義の内容や評価方法を知り、簡単なクイズを通して自身が持つ知識を把握しましょう。	講義 グループワーク	
イントロダクション			
第 2 回	【講義】「ハラール」と「ハラーム」 イスラムの教義について、ハラール（許容）とハラーム（禁忌）を軸に学びます。	講義 グループワーク	講義で配布した資料を読んでおくこと。
第 3 回	【講義】隣人としてのムスリム ヨーロッパやアメリカ、日本に住むムスリム（イスラム教徒）について学びます。	講義 グループワーク	
第 4 回	【講義】日本と中東の出会い 石油以外で、日本と中東との関わりを学びます。	講義 グループワーク	
「国家」をキーワードに中東を見る			
第 5 回	【講義】国家と政府 中東の国々の特徴について、その概要を見ます。	講義 グループワーク	
第 6 回	【講義】中東和平 パレスチナ問題の解決はなぜ実現されないのか、「国家の形成」という観点から考えます。	講義 グループワーク	ボーナス課題⑤ 提出締め切り
第 7 回	【ブレイク】中東の映画②／中間クイズ	映像鑑賞	
第 8 回	【講義】マイノリティー クルド人、アルメニア人など、中東でマイノリティーの立場にある人々について学びます。	講義 グループワーク	
第 9 回	【講義】イスラム主義の新たな展開 イスラム国 (IS) の問題など、多角的に検討します。	講義 グループワーク	ボーナス課題⑥ 提出締め切り
国境を越える思想、運動、人々			
第 10 回	【講義】ヴェールと西欧の世俗主義 フランスで物議を醸したヴェール問題について議論します。	講義 グループワーク	
第 11 回	【講義】イスラム復興 1960 年代から 70 年代にかけて見られた、「イスラムへの回帰」を検討します。イスラム金融についてもこの講義のなかで扱います。	講義 グループワーク	

第 12 回	【講義】オリエンタリズム エドワード・サイードの議論から、中東地域に対する偏見の告発を考えます。	講義 グループワーク	ボーナス課題⑦ 提出締め切り
第 13 回	【講義】「他者」を見る視覚 サミュエル・ハンチントンの議論から、中東と欧米社会の関係について議論します。	講義 グループワーク	
発展			
第 14 回	【講義】我々の時代と中東、イスラム	講義	ボーナス課題⑧ 提出締め切り
第 15 回	【筆記試験】 ◀◀省略▶▶		

【受講のルール】

- ・他の学生の学習を妨害するような行為（携帯電話での通話、ゲーム機や音楽プレイヤーなどで音を出す行為など）は厳重に注意するとともに、減点対象とします。
- ・授業中の食事は禁止しますが、飲料は飲んでも構いません。
- ・欠席者分の資料は取り置きしません。欠席した場合はクラスメイトにコピーなどをさせてもらうようにしてください。
- ・授業内容の録音、録画、撮影は原則として禁止します（許可する場合はその度に指示します／筆記が難しいなど、特別な事情がある場合は個別に相談してください）。また、教材や授業風景を SNS などにアップロードする行為を発見した場合は、減点を含めて厳重に対応します。

【欠席のルール】

- ・授業中に行うワークに参加が出来ない場合、その時間の評価点は加わりません。
- ・公欠は、①忌引き、②教育実習、③その他の科目との重複（補講など）、④学科行事、⑤感染症、⑥自然災害など、が該当します。
- ・公欠以外の理由により 3 回以上欠席の場合は単位を出すことができません。また公欠であっても 5 回以上欠席の場合は単位を出すことができません。

【後期ボーナス課題：各 5 点】

	課題	提出期限
5	授業のなかで紹介した中東料理のレストランのいずれか、またはその他の中東料理のレストランに出かけ、食レポを A4 で 1 枚にまとめてください（字数は問いません）。前期にこの課題を提出した方は、別のレストラン、または同じレストランでも別の料理に挑戦してみてください。 観点：①「おいしかった」だけではダメです。具体的にどのような点に感心したのか、驚いたのかを書いてください。 ②お店で中東独自の装飾、飾りなどを見つけたら、それについて店員さんに質問して、名称や由来などを書いてください。 ③気に入った料理名を具体的に挙げてみてください。 【ヒント】大塚和夫編 [2007] 『世界の食文化⑩アラブ』農山漁村文化協会 石毛直道・鈴木董編 [2003] 『世界の食文化⑨トルコ』農山漁村文化協会 エルサムニー、師岡カリーマ [2008] 『イスラームから考える』白水社	第 6 回講義
6	以下のいずれか 1 本の映画を見て、その題材の歴史的な背景について調べ、A4 で 1 枚にまとめてください（字数は問いません）。 「おじいちゃんの里帰り」（ドイツ・トルコ）、「ロンドン・リバー」（イギリス）、「君を想って海をゆく」（フランス）、その他中東を扱った映画 観点：①描かれている時代、題材を示してください（推定の場合は、その論拠を示してください） ②どういった点に感心したのか、驚いたのかを書いてください ③関連するテーマの書籍や Web ページを 1 点以上参照し、映画内容を補足したり、内容の事実関係を検討してください。	第 9 回講義
7	授業中に提示するいずれかの中東・イスラームについて知るシンポジウム、講演会の一つに参加し、A4 で 1 枚にまとめてください。前期にこの課題を提出した方は、別のイベントに参加してください。 観点：①開催された日時、場所、企画の名前、登壇者の名前を記載してください。 ②内容の要約をしてください。 ③シンポジウムでの発言や内容について、あなたの意見を具体的に述べてください（「おもしろかった」、「ためになった」ではなく、具体的に記述してください）。	第 12 回講義
8	授業中に取り上げたいいずれかの書籍を読み、その書評を A4 で 2 枚以内で提出してください（1 枚でも、以下の要件を満たしていれば満点とします）。 観点：①本のタイトル、著者、発行年、出版社を明記してください。 ②内容の要約を正確に行ってください。 ③内容について、あなたの意見を述べてください。	第 14 回講義

ボーナス課題・評価観点（5点満点・加点あり）

項目	優れている（1点）	あと一歩	改善が必要（0点）
ページ数	指定枚数に収まっている		指定枚数を著しく（1ページ以上）逸脱している
形式	タイトル、学生番号、氏名、（必要な場合は）参考文献が明示されている		タイトル、学生番号、氏名、（必要な場合は）参考文献のいずれかが欠けている
観点①	満たしている		満たしていない
観点②	満たしている		満たしていない
観点③	取り組み、成果を挙げている（+2）	取り組もうとした痕跡が見える（+1）	取り組んでいない

【教科書】

教科書は特に定めません。

【参考書】

- ・基礎文献（授業の進展と併せて参照することが望ましいです）

諸岡カリーマ・エルサムニー. 2008. 『イスラームから考える』白水社。

…日常生活から始まるエッセイなので、非常に読みやすいです。

松本弘. 2015. 『アラブ諸国の民主化：2011年政変の課題』イスラームを知る、山川出版社。

…薄いリブレットですが、情報が凝縮されています。

小杉泰. 1994. 『イスラームとは何か』講談社現代新書、講談社。

…イスラム（イスラーム）の観点から中東を捉える際に最初に読むことをお勧めします。

- ・専門文献（各自の関心に併せて参照することが望ましいです）

大塚和夫. 1998. 『アラブ』暮らしがわかるアジア読本、河出書房新社。

…中東の文化を知る上で、これ以上の本はないと言っても過言ではありません。

ロジャー・オーウェン. 2015. 『現代中東の国家・権力・政治』

…欧米の大学で教科書として採用されている政治学分野の研究書です（かなり専門的）。

【授業担当者自己紹介】

- ・鈴木啓之（Hiroyuki SUZUKI）

専門領域は地域研究（中東）、中東近現代史（他に国際関係論と社会運動論を勉強しています）

- ・コンタクト方法：メール（◀◀省略▶▶）、または授業の前後

オフィスアワーは特に定めません。授業の前後の時間を見つけて、直接コンタクトを取るようになしてください（SNS、LINEなどでの連絡は受け付けません）。